

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 「PD-L1 (22C3) 頭頸部癌」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、免疫チェックポイント阻害剤「ペムブロリズマブ（商品名キイトルーダ）」は、「再発または遠隔転移を有する頭頸部癌」に対して適応されていましたが、新たに「局所進行頭頸部癌における術前・術後補助療法」への適応が追加されました。

これまでPD-L1 (22C3) の発現状況別の有効性成績は CPS<1、 $1 \leq \text{CPS} < 20$ 、 $\text{CPS} \geq 20$  の区分で示されていましたが、新たに  $10 \leq \text{CPS} < 20$  における有効性成績が提示されました。これに伴い、本検査結果の発現状況区分として「 $10 \leq \text{CPS} < 20$ 」を追加いたします。

よろしくご利用賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 対象項目 / 変更内容

##### ● [50099] PD-L1 (22C3) 頭頸部癌《IHC法》

	新	旧
病理判定	CPS<1 $1 \leq \text{CPS} < 10$ $10 \leq \text{CPS} < 20$ $\text{CPS} \geq 20$	CPS<1 $1 \leq \text{CPS} < 20$ $\text{CPS} \geq 20$

頭頸部癌に対してはこれまで同様にコンプリメンタリー診断となります。

#### 変更期日

##### ● 2026年3月16日(月)受付日分より

